

第2学年社会科 学習のポイント（地理）

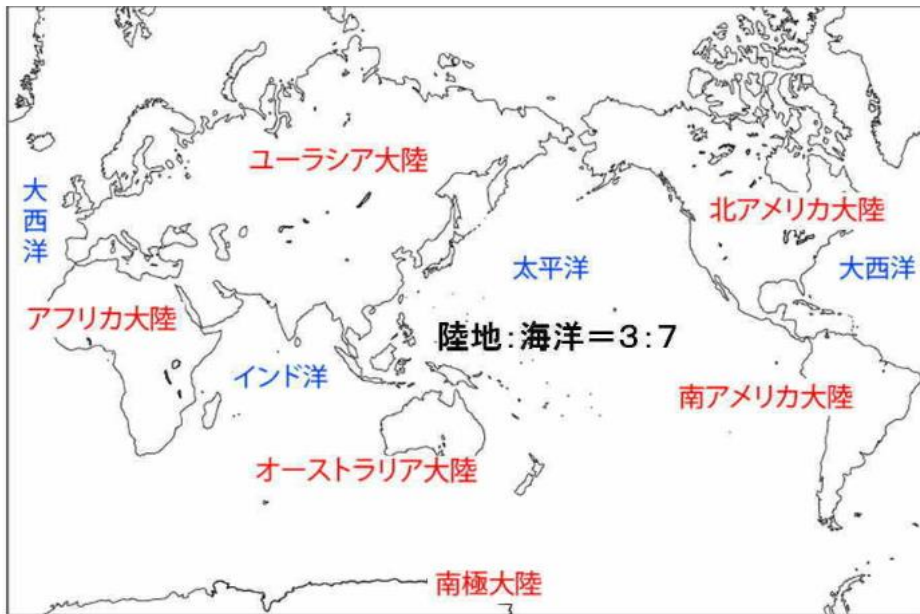
<ポイント>

地理は特に1年生の内容が2年生、3年生で生かされることが多いのでしっかり学習しておきましょう。

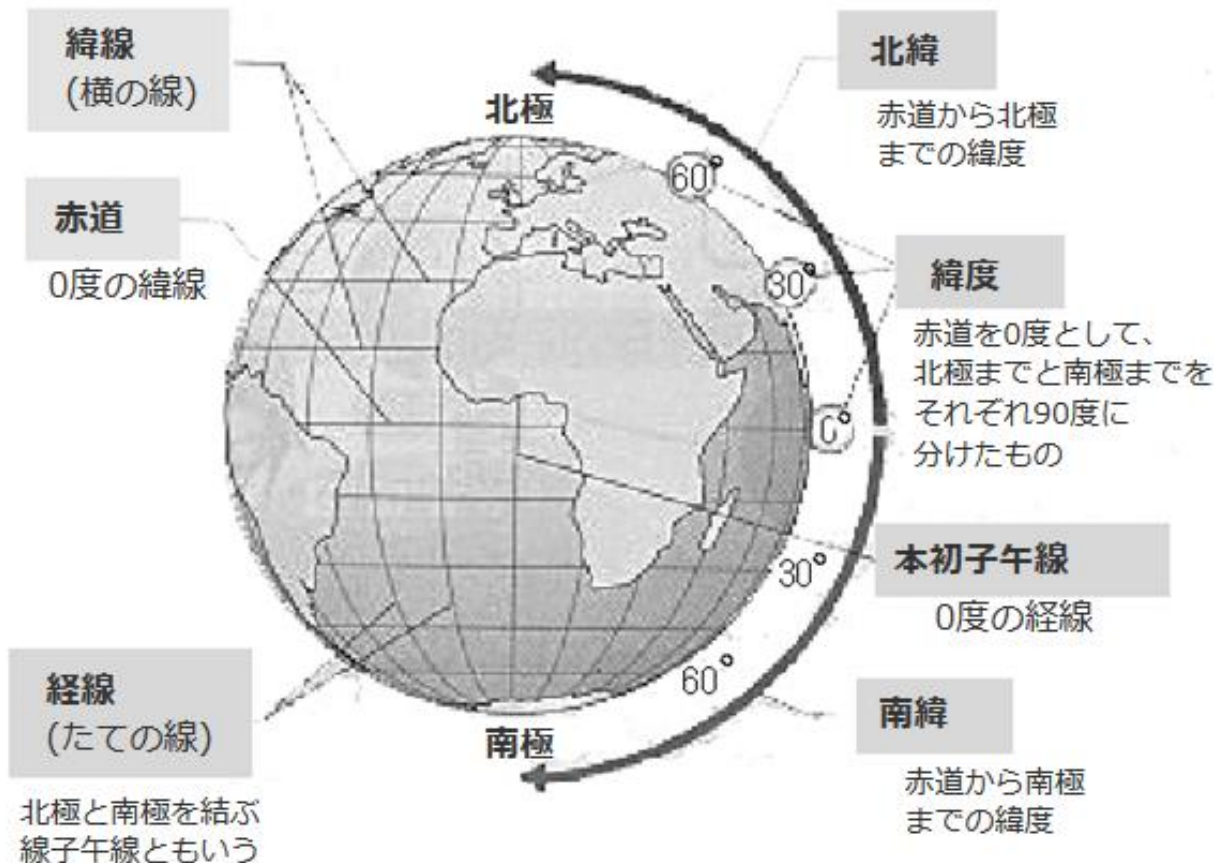
ポイント整理

○世界の姿 1～47

- ・1～9の**六大陸**、**三大洋**は必ず書けるようにしておきましょう。また地図上の位置も理解しておくように。

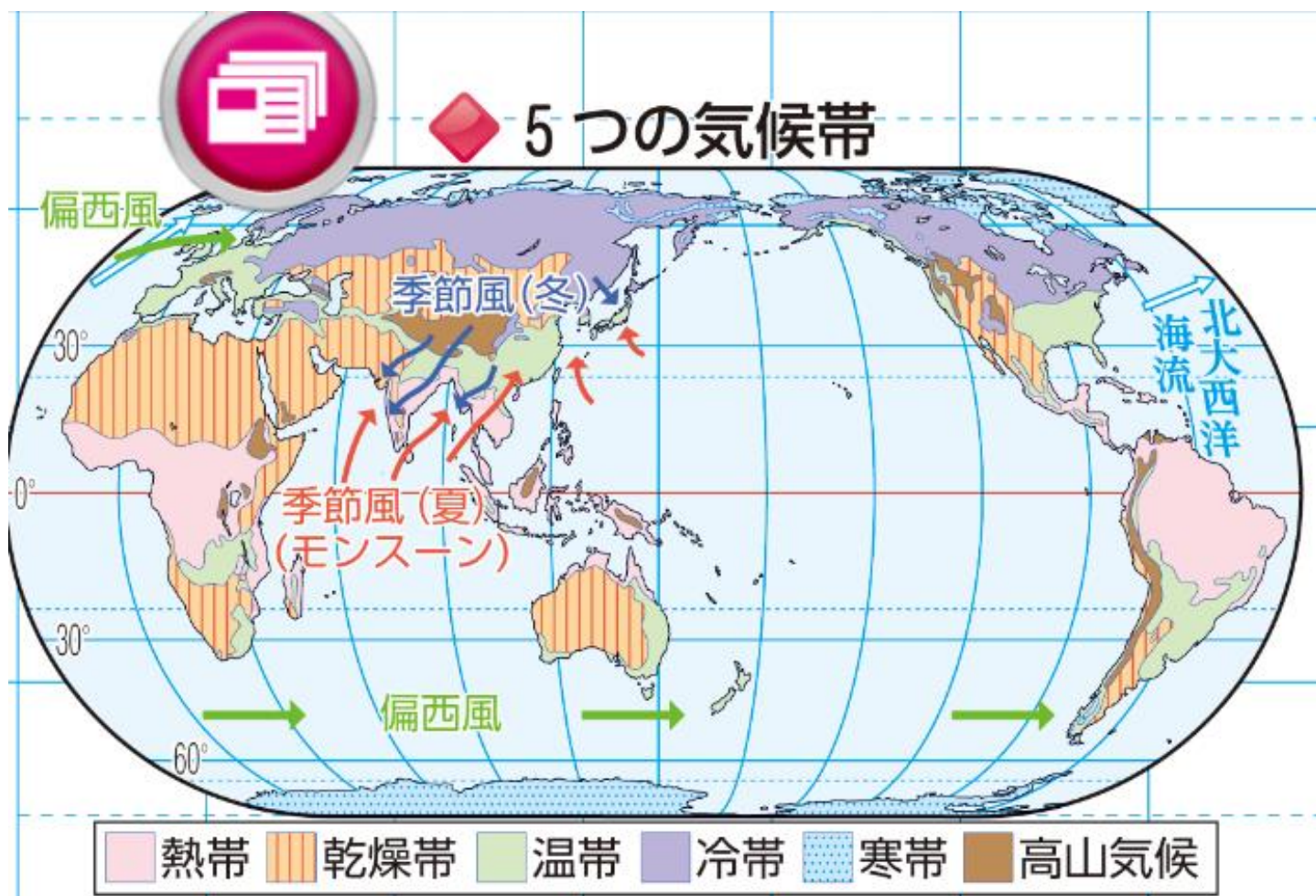


- ・19～24の語句は、2年生で習う**時差**のところで再び出てくるので、しっかりおさえておきましょう。

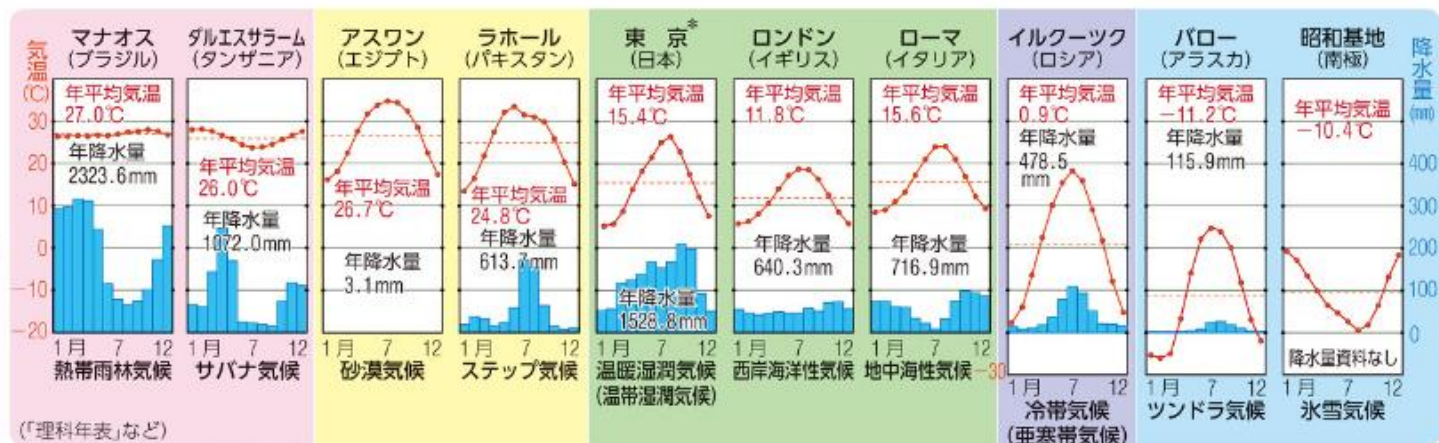
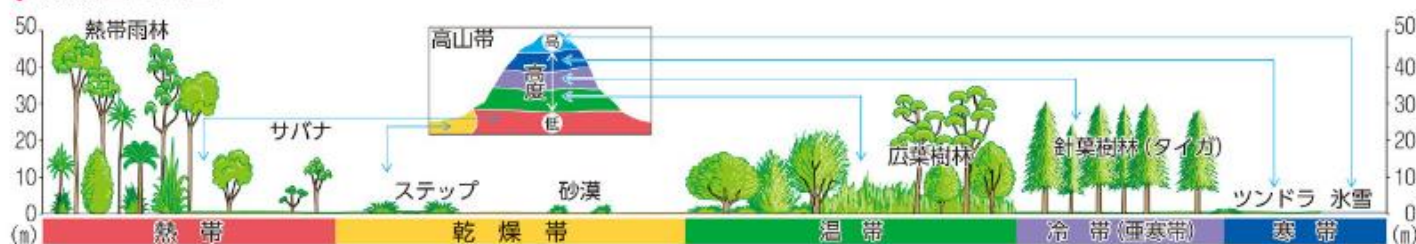


世界各地の人々の生活と環境 29～47

- 世界の気候帯は名称と雨温図の特徴を理解し、どこの気候帯か地図上からも選べるようにしておきましょう。



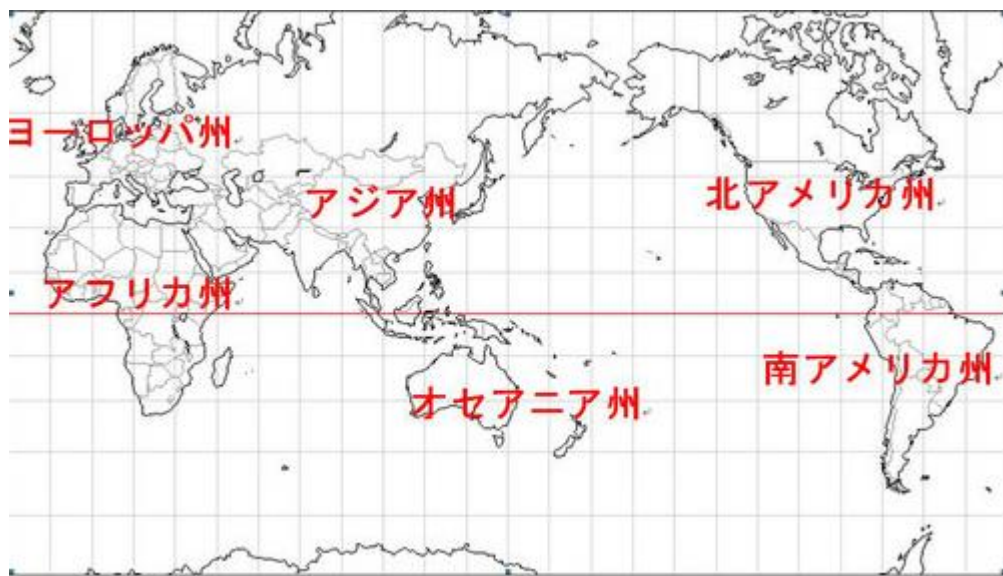
気候区と植生



*東京の気象観測地点は、2014年12月より移転。

世界の諸地域 48～186

- ・ 6つの州の名称と地図上での位置は必ず分かるようにしておきましょう。
- ・ それぞれの州の特徴（気候、産業、課題など）についてもおさえておきましょう。



アジア州 48～72

- ・ アジアの国々は日本と密接に関係している国が多いため、それぞれの国の特徴をおさえておきましょう。
- ・ 近年急速に成長をしている地域や国々も多いので、それらの国もしっかり勉強しておきましょう。

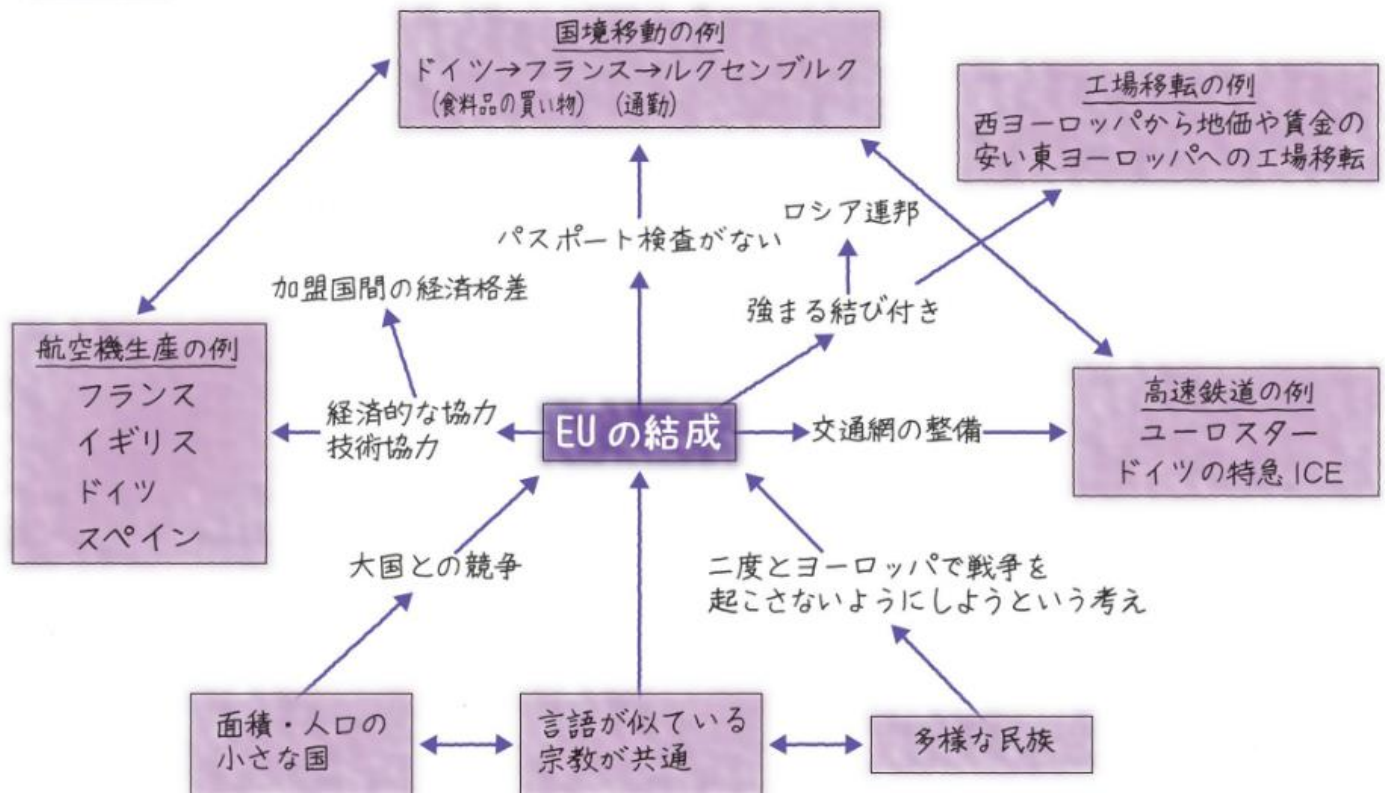
学習テーマ アジアは、なぜ急速に成長したのでしょうか。

学習内容	成長した国・地域	成長した理由
アジアNIESの出現	アジアNIES (韓国、台湾、ホンコン、シンガポール)	・ せんい製品や電子部品の欧米や日本などへの輸出
中国の発展	中国東部	・ 安くて豊富な労働力を求めた、外国企業の受け入れ ・ アメリカや日本などへの輸出
	中国西部	・ 政府による鉄道、道路整備と自動車産業などの育成
東南アジアの発展と課題	ASEAN (タイ、マレーシア、インドネシアなど)	・ 安い労働力を求めた外国企業の受け入れ ・ 日本や欧米への輸出 ・ 農業の近代化 ・ 工業団地を造る
南アジアで急速に成長するインド	インド	・ 高い教育水準による情報技術産業の成長 ・ 農業の近代化 ・ 外国企業の進出
資源の豊かな西アジア・中央アジア	西アジア	・ 豊富な石油の生産と輸出 ・ アジアの国々からの出かせぎ労働者
	中央アジア	・ 豊富な鉱産資源（レアメタルなど）の生産と輸出

ヨーロッパ州 73~179

・EU を中心とした経済統合や、気候の特徴を生かした農業について特に勉強しておきましょう。

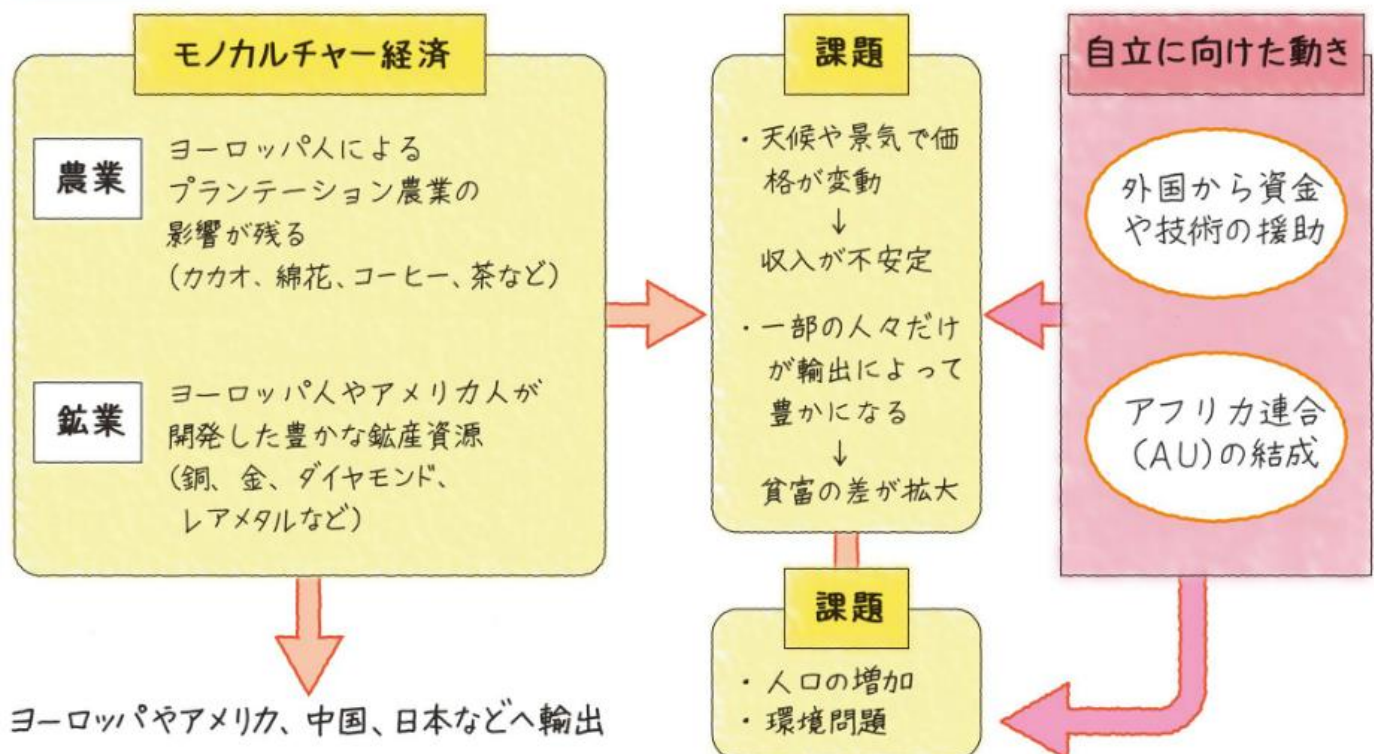
学習テーマ ヨーロッパの国々は、なぜ国家間の統合を進めたのでしょうか。



アフリカ州 99~119

・モノカルチャー経済について、語句の意味も説明できるようにしておきましょう。

学習テーマ アフリカでは、なぜ農業や鉱業の生産品が、特定の産物にかたよっているのでしょうか。



北アメリカ州 120~146

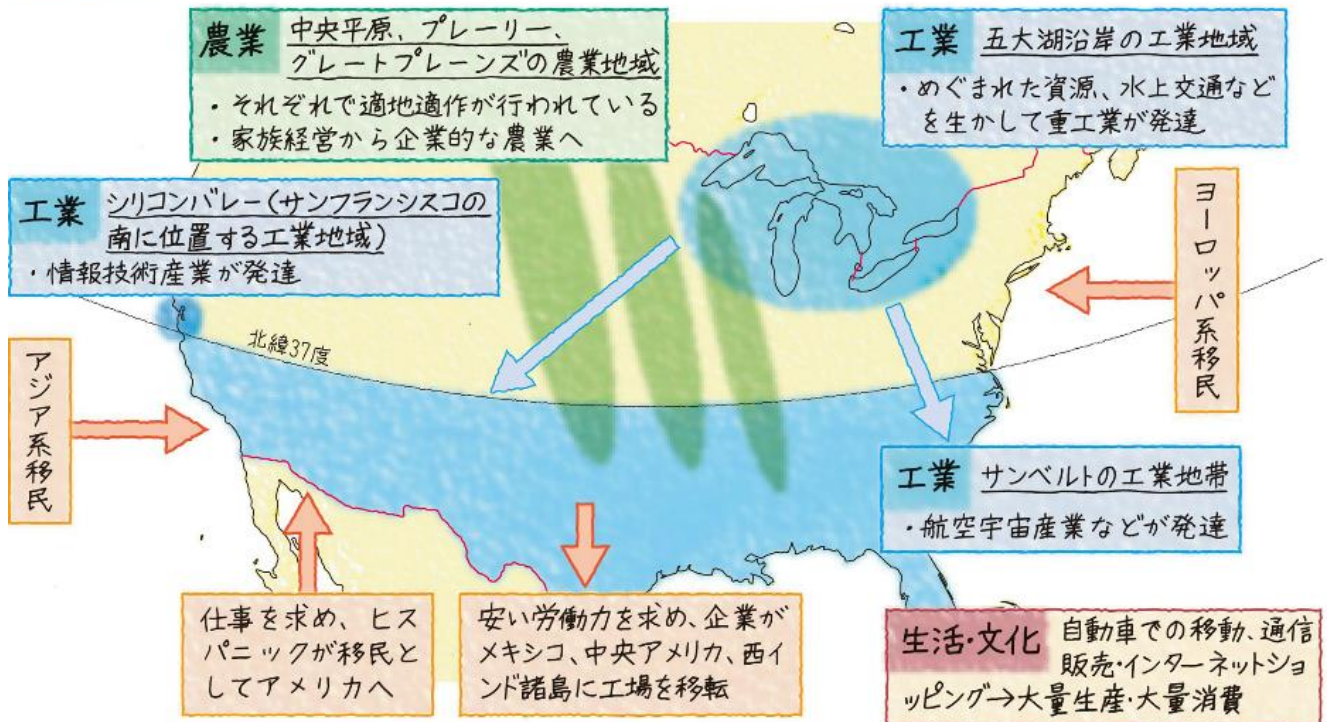
・特にアメリカについてですが、農業、工業について特徴をおさえておきましょう。

142番 サンベルト

144番 シリコンバレー

については入試でもよく問われる重要語句なのでしっかりおさえておきましょう。

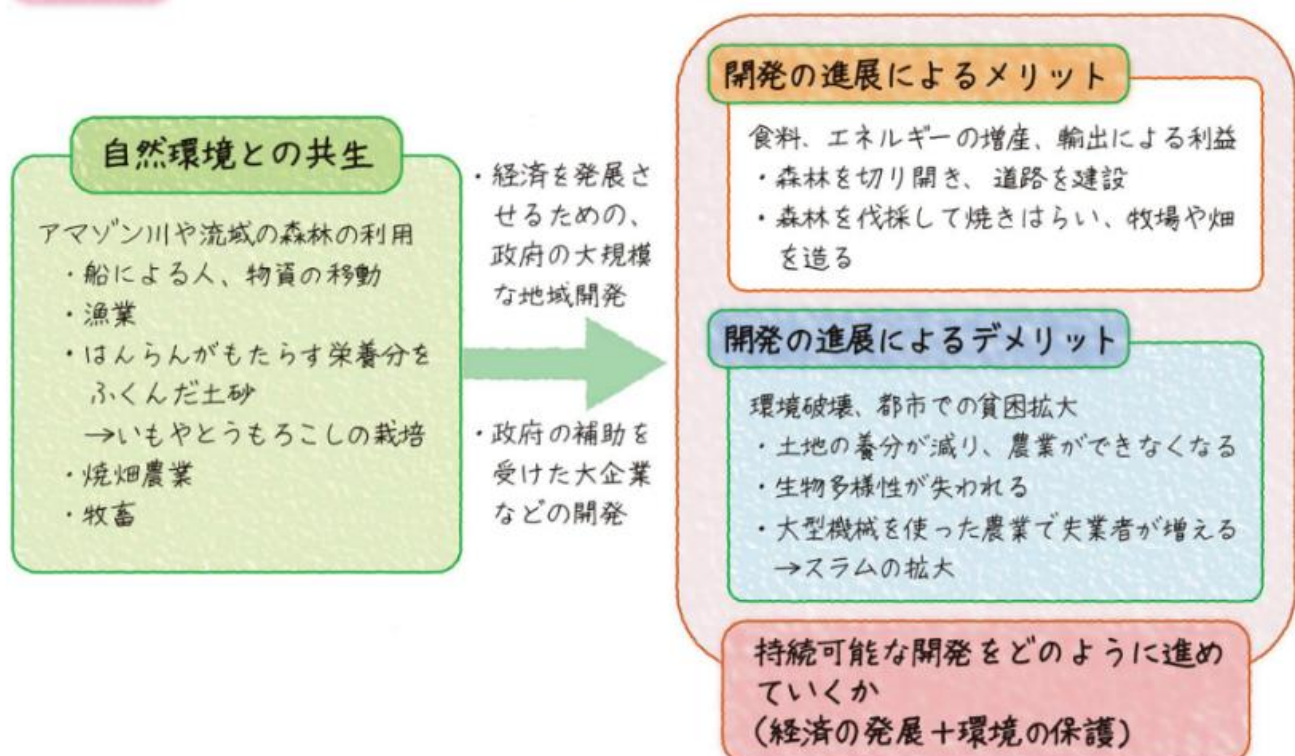
学習テーマ 北アメリカでは、なぜさまざまな産業が盛んなのでしょうか。



南アメリカ州 147~164

・主にブラジルになりますが、豊富な鉱産資源や産業の移り変わりなどを中心に勉強しておきましょう。

学習テーマ 南アメリカでは、なぜ開発が進んだのでしょうか。



オセアニア州 165～186

・オーストラリアが中心になってきますが、産業（主に鉱業）やアジアとの結びつきをおさえておきましょう。

学習テーマ オセアニアでは、なぜアジアとの結び付きが強くなってきたのでしょうか。

	時期	結び付きの特色
資源によるアジアとの結び付き	1960年	イギリス、アメリカ、日本が貿易相手国（輸出入総額にしめる日本の割合は、約10%）。 羊毛が輸出品の約40%をしめる。
	2013年	中国、日本、アメリカが主な貿易相手国（輸出入総額にしめる中国と日本を合わせた割合は、約38%）。 石炭、鉄鉱石、金などの原料が輸出品の中心。 → 資源を安定的に確保するため、オーストラリアの資源開発を進める日本企業がある。 → アジア各国がオーストラリアの資源にたよっている。
人々によるアジアとの結び付き	18世紀後半～	イギリスの植民地だったため、イギリス系の移民が増加。
	19世紀後半～	金の採掘を目指して中国系の移民が増加。
	20世紀初め～ 1970年代	白豪主義により、ヨーロッパ系以外の移民を制限。
	1980年代～現在	貿易などでアジアとの結び付きが強まり、アジア系の移民が増加。 観光目的でも日本などから多くの人が訪れる。